

平成25年10月20日公開 ITパスポート試験 分析資料

株式会社ウイネット
情報処理教育研究室

弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、公開された試験の出題内容に関するご意見を聴取させていただき、情報処理教育研究室で整理及び分析を行いました。今後のご参考として、10月20日に公開された試験（以下、H25秋と表記）の分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

分野			H25秋	H25春	H24秋	H24春	H23秋	H23春
1	ストラテジ系	小問	27	30	30	29	31	32
		中間	9	5	6	7	4	3
		合計	36	35	36	36	35	35
2	マネジメント系	小問	22	21	22	21	21	22
		中間	3	3	2	4	4	3
		合計	25	24	24	25	25	25
3	テクノロジ系	小問	35	33	32	34	36	34
		中間	4	8	8	5	4	6
		合計	39	41	40	39	40	40

- CBT方式（H24年春）から、小問は問1～問84の84問、中間（中間A～D）は問85～問100の16問で構成されています。分野別の出題数は、100問出題中、ストラテジ系35問程度、マネジメント系25問程度、テクノロジ系40問程度です。
- 中間を構成する問題数は、前回と比較して、ストラテジ系が4問多く、テクノロジ系が4問少なくなっています。

2. 大分類別出題数

大分類		H25秋	H25春	H24秋	H24春	H23秋	H23春
1	企業と法務	14	16	17	17	18	19
2	経営戦略	13	12	13	9	11	10
3	システム戦略	9	7	6	10	6	6
4	開発技術	8	9	10	10	9	9
5	プロジェクトマネジメント	8	8	6	8	6	6
6	サービスマネジメント	9	7	8	7	10	10
7	基礎理論	6	7	6	7	5	6
8	コンピュータシステム	9	10	14	8	10	13
9	技術要素	24	24	20	24	25	21
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2問以上出題数が増えた大分類は、“システム戦略（+2問）”、“サービスマネジメント（+2問）”でした。
- 前回と比較して、2問以上出題数が減った大分類は、“企業と法務（-2問）”でした。

3. 中分類別出題数

中分類		H25秋	H25春	H24秋	H24春	H23秋	H23春
1	企業活動	8	9	9	11	10	11
2	法務	6	7	8	6	8	8
3	経営戦略マネジメント	8	9	7	5	6	5
4	技術戦略マネジメント	1	1	1	1	1	1
5	ビジネスインダストリ	4	2	5	3	4	4
6	システム戦略	6	5	5	5	4	3
7	システム企画	3	2	1	5	2	3
8	システム開発技術	7	8	9	9	9	9
9	ソフトウェア開発管理技術	1	1	1	1	0	0
10	プロジェクトマネジメント	8	8	6	8	6	6
11	サービスマネジメント	6	4	5	4	6	6
12	システム監査	3	3	3	3	4	4
13	基礎理論	5	4	5	3	3	3
14	アルゴリズムとプログラミング	1	3	1	4	2	3
15	コンピュータ構成要素	3	2	4	3	3	3
16	システム構成要素	1	3	3	2	4	3
17	ソフトウェア	4	4	6	3	3	5
18	ハードウェア	1	1	1	0	0	2
19	ヒューマンインタフェース	0	1	0	1	1	2
20	マルチメディア	2	2	4	4	2	1
21	データベース	2	3	3	4	5	3
22	ネットワーク	8	7	5	7	5	5
23	セキュリティ	12	11	8	8	12	10
合計		100	100	100	100	100	100

- 前回と比較して、2問以上出題数が増えた中分類は、“ビジネスインダストリ（+2問）”、“サービスマネジメント（+2問）”でした。
- 前回と比較して、2問以上出題数が減った中分類は、“アルゴリズムとプログラミング（-2問）”、“システム構成要素（-2問）”でした。

4. 中間A～D（問85～問100）

	テーマ	分野	難易度	コメント
中間A	商品開発プロジェクト	ストラテジ系2問 マネジメント系2問	やや易	契約内容や工程管理が理解できれば、難なく解けた問題でした。
中間B	事務担当者の業務改善	ストラテジ系4問	普通	問91は業務改善の観点の識別、問92は重み付きの評価がポイントでした。
中間C	業務報告書の作成	テクノロジ系4問	やや易	ファイル名やパスワードの条件が理解できれば、難なく解けた問題でした。
中間D	図書館システム	ストラテジ系3問 マネジメント系1問	普通	要望事項や取得可能情報とRFIDシステムの機能との照合がポイントでした。

5. 初めて出題された用語と今後の対策

初めて出題された用語として、オプトインメール広告（問9）、ターゲットマーケティング（問22）、フリーアドレス（問36）、コンテンツエンシー予備（問42）、プロジェクト統合マネジメント（問45）、Apache（問58）、ラスタググラフィックス（問61）、マルチコアプロセッサ（問66）、ゼロディ攻撃（問74）、MACアドレスフィルタリング（問81）、PLCアダプタ（問84）などがあります。

このように、新用語は毎回出題されますが、総合で60%、各分野で30%以上得点すれば合格ですので、まずはシラバスの用語を徹底的にマスタし、過去問題及び公開問題で実践力を身に付け、類似問題は100%正解できるようにする対策が重要になります。